

(2) 国府尾城や隠岐氏に関わる文献を調査した結果、次のことが確認できました。今後は発掘調査を中心とした総合調査を行い、国府尾城を含む隠岐の中世史の解明を進めます。

- ① 国府尾城が15世紀から16世紀にかけて利用されたこと
- ② 隠岐島内の領有を巡る動きと本土勢力との関係性
- ③ 国府尾城が祈祷のためのなんらかの施設を備えていたこと

4. まとめ

(1) 国府尾城跡の文化財的価値

国府尾城は中世に隠岐を治めた隠岐氏の居城であり、その規模は他の町内の山城と比べ突出しています。国府尾城についての調査を行うことで、隠岐での中世山城の築城技術や当時の隠岐の状況を知ることができると考えられ、国府尾城跡の文化財的価値は非常に高く、国史跡の指定を目指し取り組んでまいります。国府尾城跡の文化財的価値は大きく次の3つです。

- ① 隠岐国最大の山城
- ② 中世の石垣が残存する山城
- ③ 城主の居館を擁する山城

(2) 国府尾城跡活用整備に関する方針

現在国府尾山は神社への参拝以外の利用がされていません。今後は国府尾山に出かけた人が、現地をより楽しめるように整備し、現地説明会などを開催することで町民によく知られ親しまれる場所となるように、次の整備に取り組んでまいります。

- ① 山上からの眺望の確保
- ② 国府尾城跡を周遊し楽しむための散策道の整備
- ③ 国府尾城跡を知り歴史理解を深めるための説明看板の設置

(3) 国府尾城跡の魅力

以上のとおり、国府尾城跡は史跡指定して保護すべき価値を有する重要な遺跡です。また、トレッキングや自然散策など、文化財的な側面だけでなく観光や健康増進、社会教育活動など多方面に活用できます。今後も引き続き、国府尾城跡の保存・活用・整備を行ってまいります。



国府尾城跡が所在する国府尾山（南から）



国府尾城跡からの眺望（西郷港間口方面）